

自己評価報告書 学校関係者評価報告書

(令和5年度)

愛知産業大学三河高等学校
通信制課程 単位制

I	学校概要	1
		2
II	教育目標	
	(1) 学校法人 愛知産業大学建学の精神	2
	(2) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育目標	2
	(3) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育指導方針	2
	○スクールポリシー	3
III	重点目標の達成及び改善方策	4
	(1) 学習指導	4
	(2) 生活指導	5
	(3) 進路指導	5
	(4) 生徒相談	6
	(5) 生徒募集	6
	(6) 総 務	7
	(7) 校 務	7
	(8) 事 務	8
IV	本年度の具体的な取り組み	9
V	来年度の具体的な取り組み	9
VI	今後の方向性	9
	生徒アンケート 集計結果	11
		12
	保護者アンケート 集計結果	13
		14
	保護者コメント（要望）	15

I 学校の概要

(1) 学校名 愛知産業大学三河高等学校

(2) 課程・設置科 通信制課程・普通科

(3) 所在地

〒444-3525

愛知県岡崎市藤川町西川向1-20

TEL: 0564-48-5230 FAX: 0564-48-8775

ホームページ: <https://asu-mikawa-tani.jp>

(4) 沿革

昭和58年 三河高等学校の創立が認可され、校舎を岡崎市字原山12番地の10に置く。

昭和58年 三河高等学校を開設。全日制課程の普通科と電気科を置く。

昭和60年 三河高等学校の全日制課程に情報処理科と通信制課程を設置する。

平成3年 愛知産業大学の設置が認可され、校舎を岡崎市字原山12番地の5に置く。

平成7年 三河高等学校の校名を愛知産業大学三河高等学校に改称する。

平成10年 愛知産業大学三河高等学校に単位制（普通科）を設置する。

平成16年 愛知産業大学三河高等学校の単位制新校舎が完成。
現在に至る

(5) 通信制課程の構成

学年制の生徒が在籍する技能連携校（専門学校高等課程）と本校独自の単位制で構成されている。

学年制は普通科であり技能連携を結ぶことによって、専門学校の単位を本校の単位として認定、年回3回のスクーリングを本校で行い高等学校卒業資格を与えることができる。

本校単位制普通科には、2つのコース（午前コース・午後コース）を設けている。

また、午後コースは少人数制授業（10人前後）を行っている。通学型通信制で大学生のように自分で選んだ授業を受講し、3年間で74単位取得することで通信制の卒業資格を得ることができる。

(6) 技能連携校、及び学科構成

名古屋情報専門学校 高等課程	普通科
あいちビジネス専門学校 高等課程	普通科
西尾高家政専門学校 高等課程	普通科
名古屋調理師専門学校	普通科
専修学校東洋調理技術学院	普通科
豊橋情報ビジネス高等専修学校	普通科
大岡学園ファッション文化専門学校	普通科
あいち情報専門学校 高等課程	普通科

(7) 生徒数及び教職員数（令和5年5月1日現在）

	単位制普通科		学年制普通科		合計
	男子	女子	男子	女子	
1年生	34	43	425	113	615
2年生	43	34	414	108	599
3年生	54	49	400	128	631
合計	131	126	1239	349	1845

教職員数 17名（含：兼務） 校長（兼務） 教頭 教員 9名 兼任 3名
精神保健福祉士 1名 事務職員 2名

II 教育目標

(1) 学校法人 愛知産業大学建学の精神

豊かな知性と誠実な心を持ち 社会に貢献できる人材を育成する

(2) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育目標

本校通信制課程単位制は、転学希望生徒や高校中退生徒の再チャレンジの場として、また不登校気味中高生の成長の場として、高校卒業資格の取得を第一目標に指導している。また、卒業後の進路指導についても力を入れている。

(3) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育指導方針

単位制の生徒は、中学校時に不登校であった生徒、他の高等学校からの転入学生、学び直しを希望する編入学生で構成されており、個性豊かでいろいろな問題を抱えているが、その目標は「高等学校卒業」である。その希望に応えるため、家庭との連絡を密にして意欲と自覚を促し、単位取得と退学防止をはかる。また、わかりやすい学習指導、進路指導、悩み相談を行い、将来のために次のステージへ繋げる。

スクールポリシー

愛知産業大学三河高校通信制

1. 育成を目指す資質・能力に関する方針

「豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する」ことを教育方針とし、転学生徒や高校中退生徒の「再チャレンジの場」として、また不登校気味中高生の「成長の場」として、高校卒業資格の取得を第一目標に指導しています。また、卒業後の進路指導についても力を入れています。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（単位制）

○登校型の通信制高校として取り組んでいます。（狭域性＝県内居住の人に限りです）

- ・登校 週2日を原則としています。
- ・授業 対面授業を実施しています。各授業ごとにレポートを提出してもらいます。
- ・時間割 大学生のように決まった時間割表の中から自分で選べます。

（教員のサポートあり）

- ・コース 2コースの設定（午前コース、午後コース）

午後コースは不登校や人間関係の苦手な生徒のコースで、「少人数授業(15人前後)」を実施しています。

- ・修得単位数 3年間で74単位取得することで通信制の卒業資格を得ることができます。

3. 入学者の受け入れに関する方針

不登校や人間関係で悩む生徒が増加しつつある近年において、少しでも再チャレンジの場を与えることを念頭に受け入れ態勢を整えています。

- ・高校生（転学、編入学）

在学中に不登校・成績不良での原級留置・その他の理由で転学を希望する者や、一旦退学した生徒で高校卒業の資格を求める者を受け入れています。

- ・中学生（入学）

不登校や体調不良などで希望する全日制高校への進学ができない生徒を受け入れています。

- ・社会人（入学）

一般の社会人でも高卒資格の必要な人、また「生涯学習」の一環として高卒資格のない年長者の受け入れもしています。

○少しでも前向きに取り組もうとする意欲があれば受け入れています。

○「通信制高校は自由」とのイメージから生活面に問題のある生徒が集まる傾向にありますが、本校ではお断りしています。

Ⅲ 重点目標の達成及び改善方策

○評価方法 各重点項目に対して、1点から3点で評価する。

良い… 3点	普通… 2点	悪い… 1点
どちらでもない…評価しない		

○評価対象 本校通信制教職員（9名）

（1）学習指導

重点項目	教員評価	
	R 5	R 4
① 各科目の単位修得率を向上させる努力をする。	3	3
② 生徒の基礎学力向上に努める。	3	2.7
③ 試験による不正行為をなくす。	3	3
④ 欠課オーバーによる科目不認定者を減少させる。	2.6	2.8
⑤ 「よくわかる授業」の実践に心掛ける。	3	3
⑥ 授業中のマナー指導の徹底 (携帯電話・スマートフォンの使用 禁止、居眠り)	2.9	2.8
⑦ 授業の視聴覚教材を作成する。	2.9	3
⑧ 技能連携校スクーリングの新教材の作成と確認を行う。	2.6	2.5
⑨ 技能連携校におけるスクーリングを効果的に行う。	2.6	2.5
⑩ 総合学習（体験学習）を効果的に行っている。	2.9	2.8

- （考察）
- ・全体的には昨年度より向上傾向にあり各先生方のご尽力に感謝したい。
 - ・通信制に通う生徒は学習習慣が確立していない生徒が多く、少しでも興味を持って取り組む環境作りに取り組んでいる。
 - ・総合的な探究（総合学習）は年々内容の濃い講座が増えており充実している。また進路学習の貴重な学びの場ともなっている。

- 【課題】
- ・欠時オーバーによる不認定者が昨年より増加しており、その多くは家庭生活に問題がある場合が多い。私生活にもある程度の関与が必要である。ただ、保護者の協力・理解を得るのも難しい状況である。

- 【改善】
- ・学び直し講座を有効に活用して、基礎学力の向上に繋げたい。
 - ・来年度は教育機器（ネット回線、ICT関係）の整備が計画されている。通信制での「新しい学び方」の構築に努めたい。
 - ・技能連携校スクーリングは、教材充実により少しでも満足を与えたい。

(2) 生活指導

重点項目	教員評価	
	R 5	R 4
① 登下校時のマナーはしっかりしている。	2.5	3
② 校内外の巡視を行い喫煙防止を図る。	2.3	2.7
③ 車両等による通学者は許可を得てマナーを守り通学している。	2.3	3
④ 公共交通機関利用時のマナーとモラルの意識向上を図る。	2	2.8
⑤ 交通安全に対する意識を持つように指導している。	2.4	3
⑥ 生徒自身に登校日を正確に把握させ確実に登校させる。	2.6	2.8
⑦ 健康診断結果の通知配付と共に、治療が必要な生徒に対して治療勧告を配付する。	3	3

(考察) ・年間を通して大きな問題もなく終了することができたが、潜在的には心配のある生徒も存在する。生徒の動向には日頃から注意を払いたい。

【課題】 ・生徒各自との触合いが少なく現状把握ができにくいのが現状である。私生活までの把握には限界があり保護者の協力が不可欠である。

【改善】 ・生徒とのコミュニケーションの場を増やして心の繋がりを構築したい。その一方で逆の傾向（接触が苦手）の生徒の存在も忘れてはならない。

(3) 進路指導

重点項目	教員評価	
	R 5	R 4
① 進学率を高める努力をしている。	2.5	3
② 学校斡旋就職希望生徒の内定率の向上。	2.6	2.7
③ フリーター・ニート等による進路未決定者の減少を目指す。	2.3	3
④ 担任が自クラスの進路を把握する。	2.8	2.8
⑤ 愛産大等姉妹校への進学を推奨し増加を目指す。	2.4	3
⑥ 生徒が、能力・適性に合った進路を見つけられる為の面接指導を行う。	2.8	2.8
⑦ 就職説明会や姉妹校説明会への出席を指導する。	2.6	3

(考察) ・昨年に続き国立大学合格者を出すなど、年々進学内容が充実してきた。進路指導の充実が益々重要となっている。

【課題】 ・愛産大への進学数が期待したほど出ず高大連携のあり方を再考したい。毎年進路の対する意識の低い生徒が存在し対応に苦心している。

【改善】 ・転入学の段階から進路に向けた意識を持たせることで、気持ちの切り替えや不安を取り除くように計らいたい。（自信を持たせたい）

(4) 生徒相談

重点項目	教員評価	
	R 5	R 4
① 不登校生徒のカウンセリングを促す。	2	3
② 欠席過多の生徒や不登校気味の生徒への家庭連絡を適切に行う。(家庭との連絡を密にする)	3	2.7
③ カウンセリングを実施して登校率を向上させる。	2.1	3
④ 全日制スクールカウンセラーと連携をとり実施している。	2.1	2.8

- (考察) ・不登校生徒が増加傾向にある昨今は生徒相談の重要性が増している。
 ・通信制で学ぶ生徒の多くが「心の病」を持っておりケアに取り組みたい。
 入学時に保護者からいただいた生徒情報は全教員で共有化したい。
- 【課題】 ・スクールカウンセラーが専属でなくやや不十分な状況である。
 ・中には保護者からの希望もあるため常に満員状態である。
 ・可能ならば前籍校の先生からの情報があるとありがたいのだが・・・。
- 【改善】 ・経費的に贅沢は言えないものの、毎週金曜日の午前中だけの対応でなく最低もう一日増やすことができれば幸いである。

(5) 生徒募集

重点項目	教員評価	
	R 5	R 4
① 年間目標入学者数を確保する努力をしている。	3	3
② 入学相談者に対する入学率を向上させる。	3	2.7
③ 学校説明会を計画的・効果的に実施する。	3	3
④ 学校説明会に昨年参加人数を上回るように努力する。	3	2.8
⑤ 退学者数を少なくする努力をしている。	2.8	3
⑥ 在籍数の多い高校を訪問して現況報告を行う。	2.1	2.8
⑦ 業者による合同説明会に参加して入学者数増に努める。	2.1	3

- (考察) ・本校に対する評価を少しでも上げるためには入学者の制限が必要であるとの観点から、生活面での条件を厳しくして対応している。
- 【課題】 ・精神的な理由での転入学者が多くなり、その分不認定も微増傾向にある。
 ・一部ではあるが、相変わらず以前の良くないイメージが残っており、早急に払拭したい。(地道な取り組みが必要)
- 【改善】 ・学校訪問を中学校に重点を置き中学生の直接入学を増やしたい。
 ・学校説明会のあり方を見直して、少しでも本校に対する信頼感・安心感を持たせるようにしたい。(他の通信制高校との差別化)
 ・校内外問わず説明会における女性教員の動員(活躍)を検討したい。

(6) 総務

重点項目	教員評価	
	R 5	R 4
① ホームページの更新は適宜行っている。	2.8	3
② ホームページの資料請求・学校説明会の申し込みを増加させる。(生徒募集に関する有効活用)	2.6	2.7
③ 学校の情報を「メール発信システム」で適切に提供する。	2.4	3
④ 学校説明会の案内を効果的に配布する。	2.8	2.8

(考察) ・HPのあり方が広報として大きな影響力を持つため、学校生活の様子を頻繁にアップすることが求められている。

・予算の関係もあるが数年毎にはHPのリニューアルが必要である。

【課題】 ・どうしても内容がマンネリ化してしまう傾向にある。

・一部の教員だけの業務となってしまう共有化が不足している。

・メール発信のシステムを有効に活用する取り組みが必要である。

【改善】 ・引き続きメール登録は生徒・保護者に確実にお願いしたい。

・HP更新に関しては担当者を複数化して様々な提案を呼びかけたい。

・学校説明会については従来以上に詳しくその様子を発信したい。

(7) 校務

重点項目	教員評価	
	R 5	R 4
① 校外における美化活動を行っている。	2.9	3
② 環境整備に気を配りゴミを減少させる。	3	2.7
③ 省エネを推進し、エネルギー委員会の目標値「前年度比で1%」となるように努力し、意識の高揚を図る。	3	3
④ 日直を中心とした校内整備を行う。	3	2.8
⑤ 各階・教室管理者による教室整備と校内美化に努める。	3	3

(考察) ・活動範囲が広くないことから教職員の目が届きやすく、問題の発見・報告改善がスムーズにできている。

・エアコンの修繕や入れ替えにより、以前より省エネが実現されている。

【課題】 ・校舎の老朽化により大雨の際の雨漏りが発生している。

・校舎周辺の雑木処理は苦慮しているが可能な範囲で実施している。

ただし、動ける教員には限界もある。

【改善】 ・境界線を接する近隣住民の方々との良好な関係を構築するためにも、苦情等があれば誠意を持って対応したい。

(8) 事務関係

重点項目	教員評価	
	R 5	R 4
① 業務の効率化を図り残業ゼロを目指す。	2.9	3
② 職員室の基幹データと共有しデータの一元管理を目指す。	2.9	2.7
③ 電話等の対応は適切に行っている。	2.9	3
④ 入学相談等、入学に関する事務を適切に行う。	2.9	2.8
⑤ 就学支援金事務作業を円滑に行う。	2.9	3

- (考察)
- ・「働き方改革」の浸透により教職員の定時退出が徹底されている。
 - ・在校生と連携校生徒のデータ管理には膨大な時間と労力を要している。
特に在校生の場合は担任との連携で対応することが肝心である。

- 【課題】
- ・各補助金申請に関して必要書類の提出が守れない保護者がある。
 - ・一部の連携校での業務の遅れ（不理解）があり苦慮している。
 - ・システムの開発には専門知識のある人材が不可欠である。

- 【改善】
- ・データ管理システムの刷新に向けて早急に取り組む必要がある。
次年度は県外のシステム展示会に参加して準備を進め、可能ならば
R7年度からの導入に繋げたい。
(対応期限が迫っていることの共通認識を持ちたい)

IV 本年度（令和5年度）の具体的な取り組み

体験学習講座新設…新講座導入（ゲーム、ものづくり：電波学園や企業様との協力）

進学のための奨学金制度説明会の実施・・・4月22日実施

校舎外美化活動の充実（樹木の伐採等）・・・購入機材の有効活用

ICT機器の充実（校内Wi-Fi設備の検討、ICT教育の準備）

2階教室（パーテーション設置）の有効活用・・・少人数講座、など

学校ホームページの有効活用

学校説明会、外部説明会、学校訪問（高校・中学校）への積極的参加

国際コミュニケーションコース、公務員講座の開講・・・姉妹校との連携

技能連携の増設の取り組み、姉妹校通信制との協力体制の構築

V 来年度（令和6年度）の具体的な取り組み予定

面倒見のいい通信制高校（学びなおし、各講座、進学・就職指導の充実）

教育活動の充実および学校行事のさらなる充実（課外活動の企画・実施）

ICT環境整備など教育施設拡充によるさらなる生徒数確保への取り組み

教育環境整備として、教室のLED照明化、校舎外壁改修工事を整備

名古屋たちばな高校通信制と本校通信制の技能連携校業務等の共通化・共有化を検討

学校訪問や学校説明会の充実検討および広報費を見直し、効率的な生徒募集の実践

技能連携校の新規開拓

VI 今後の方向性

本校通信制課程単位制

- ・近年の不登校生徒や精神的な要因で修学が厳しい生徒の増加傾向に伴い、全国的に通信制高校の需要が高まっている。県立高校でもその対応策として一部の高校では単位制の制度が導入されるなど、様々な動きが起きている。
- ・本校では以前の「誰でも受け入れる体制」から「真面目に取り組む生徒を受け入れる体制」へとシフトして数年になる。確かに一時と比べ転入学生生徒数は減少したが、進学校と言われる高校からの転学者は微増傾向にある。この傾向を大切に今後さらには社会の評価を高めるべく努力を続けたい。

技能連携校（8校）

- ・現在8校と技能連携を締結して専門学校卒業と同時に「愛産大三河高校の卒業資格を得ることができる」として、例年多くの生徒を迎えている。
- ・連携校としての本校の役目は、少しでも高校卒業に相応しい知識と技能を身につけて高校卒業の資格を与えることである。そのためには年3回のスクーリング授業の内容を充実したものにすることが必要である。基本的にはNHK高校講座を用いた映像授業が基本となるが、常に授業内容には研鑽を重ねながら満足してもらう授業の実践に取り組みたい。
- ・一方でさらなる収益のために連携校増加の取り組みも責務であると認識している。

アンケート調査

令和5年度 生徒アンケート 集計結果

評価欄

A：よくあてはまる B：やや当てはまる C：あまり当てはまらない D：まったくあてはまらない E：わからない

評価観点	A	B	C	D	E
教育方針・学校経営					
1. 教育方針に沿った指導をしている	53%	33%	4%	0%	10%
2. 落ち着いた学校生活を送っている	74%	21%	5%	0%	0%
3. 生徒の可能性を伸ばそうとしている。	44%	34%	10%	1%	11%
4. 施設・設備に満足している	65%	27%	5%	2%	1%
<p>【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に落ち着いた評価となっている。従来のような生活面で問題のある生徒が減少しつつあることも要因となっている。今後もこの雰囲気大切にしたい。 ・高校卒業と同時に進路指導の重要性も増している。 					
評価観点	A	B	C	D	E
学習指導					
5. 理解しやすい授業に努めている	52%	37%	7%	1%	3%
6. 熱心な授業をしている	52%	36%	8%	1%	3%
7. 落ち着いた雰囲気ですべてを受けている	74%	20%	2%	0%	4%
8. 総合的な探究の内容は充実している	46%	26%	7%	2%	19%
9. わからないことを丁寧に教えてくれる	54%	29%	9%	0%	8%
<p>【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学ぶ姿勢と教員側の授業内容がそれぞれ向上しており、高評価の授業が多くなってきた。知的好奇心の更なる向上に向けて研鑽に励みたい。 ・一方で学力の低い生徒数も以前より増えており、学び直しなどの講座を通して少しでも基礎学力の向上に取り組むたい。自信を持たせることが大切である。 					
評価観点	A	B	C	D	E
教職員					
10. 教員に親しみやすさを感じている	54%	28%	9%	2%	7%
11. 悩みや相談に優しく対応してくれる	50%	26%	9%	1%	14%
12. 事務職員は親切に対応してくれる	69%	26%	3%	0%	2%
<p>【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係の構築が苦手な生徒が多いため、生徒とのコミュニケーションについては神経を遣うことが多い。生徒の性格などを確実に把握して対応したい。 ・基本的には「声かけ」意識を持って対応することで、活発化する生徒も少なくない。 					

評価観点	A	B	C	D	E
家庭との連絡					
13. 連絡文書は確実に届けている	68%	22%	7%	1%	2%
14. 情報は絆ネット電話等で発信している	65%	22%	4%	2%	7%
<p>【考察】 ・絆ネットを有効に活用することで連絡の徹底化が図られている。 ・一部の保護者の中には連絡の取れない場合があり毎回苦慮している。</p>					
評価観点	A	B	C	D	E
生徒指導					
15. 社会ルールを守るように指導している	61%	27%	4%	1%	7%
16. トラブルがないように指導している	52%	25%	5%	0%	18%
<p>【考察】 ・以前と比べて生徒の質が徐々に良くなっていることもあり、大きなトラブルはなかった。しかしSNS関係のあり方には今後も注意を要する必要がある。</p>					
評価観点	A	B	C	D	E
進路指導					
17. 役に立つ資料は情報が整備されている	47%	29%	8%	0%	16%
18. 進路の相談や説明を丁寧に行っている	46%	30%	5%	0%	19%
<p>【考察】 ・校舎内の掲示板やフロア付近を有効に活用して常に様々な情報を提供している。特に近年は進学（奨学金なども）に関する情報を求める生徒が増えている。</p>					
評価観点	A	B	C	D	E
健康管理安全指導					
19. 身体健康維持に対する指導をしている	40%	29%	10%	2%	19%
20. 臨床心理士がいるので安心感が持てる	30%	23%	12%	2%	33%
21. 交通事故等の安全指導をしている	42%	27%	8%	2%	21%
<p>【考察】 ・今年度健康を害して急死した生徒があり健康管理に関する意識を持たせたい。 ・週一日（半日）だけのスクールカウンセラーの対応を増やしたい。</p>					
評価観点	A	B	C	D	E
その他					
22. 校舎内の環境整備美化に努めている	57%	30%	3%	1%	9%
23. レクリエーションがあれば参加したい	33%	26%	19%	13%	9%
<p>【考察】 ・レクリエーション（課外活動）を企画、実施する方向で検討しているが、強制ではなく任意参加を基本としたい。参加者には「特別活動」の一環として認めたい。</p>					

令和5年度 保護者アンケート 集計結果

評価欄

A：よくあてはまる B：やや当てはまる C：あまり当てはまらない D：まったくあてはまらない E：わからない

評価観点	A	B	C	D	E
教育方針・学校経営					
1. 教育目標や教育方針に理解できる	47%	40%	6%	0%	7%
2. 特色ある教育活動を行っている	43%	41%	7%	1%	8%
3. 生徒一人一人の個性を尊重している	52%	32%	7%	3%	6%
<p>【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学相談の段階で本校の方針や制度、費用面などを詳しく説明しているのので、多くの保護者からの理解を得ている状況である。 ・近年は卒業だけの要求から個人個人の要求や進路に関する要望が増している状況である。他校との差別化を図るためにも面倒見の良い通信制高校でありたい。 					
評価観点	A	B	C	D	E
家庭との連絡					
4. 単位修得を含めたコースの特徴を十分説明している	55%	37%	6%	0%	2%
5. 連絡文書などは確実に届けている	66%	26%	5%	0%	3%
6. 情報は絆ネット電話等で発信している	68%	23%	3%	1%	5%
<p>【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な連絡は電話、絆ネット、HPを活用しているのので、殆どの保護者との連絡は問題ない。しかし、一部の保護者（外国籍）については、連絡の取れないケースがあり履修や不認定、また経費関係について滞る場合があり苦慮している。 					
評価観点	A	B	C	D	E
学習指導					
7. 教員に親しみやすさを感じている	41%	33%	7%	3%	16%
8. 悩みや相談に優しく対応してくれる	41%	28%	7%	2%	22%
9. 総合的な探究の内容は充実している	37%	33%	7%	2%	21%
10. 教員は理解しやすい授業に務めている	37%	29%	6%	1%	27%
<p>【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信高校であるためどうしても一方的授業になりがちであるが、学習に対する基本姿勢が確立できていない生徒も少なくないため、少しでも興味を持つ授業内容に重点を置いている。知的好奇心の育成と自信を持たせることが肝心である。 ・総合探究の各講座は2. 3年生での履修するが、年々充実しており好評である。 					

評価観点	A	B	C	D	E
生活指導					
11. 社会のルールを守るように指導が適切に行われている	41%	29%	6%	1%	23%
12. いじめやトラブルがないように指導している。	37%	24%	4%	2%	33%
<p>【考察】 ・通信高校であることから様々な生徒が在籍している。少ない教職員ではあるが、生徒間の動きには敏感に対応している。ただし、SNSに関する把握には限界がある。</p>					
評価観点	A	B	C	D	E
進路指導					
13. 生徒個々に対して、適切な進路指導を行っている。	37%	34%	6%	2%	21%
14. 進学・就職説明会など適切に行われている。	36%	13%	11%	3%	37%
<p>【考察】 ・進学、就職ともに専門の担当者によって丁寧に指導しているが、保護者と生徒との意見乖離があると責任を持った指導ができない。日頃からの意識付けが大切である。</p>					
評価観点	A	B	C	D	E
その他					
15. 事務員は丁寧に対応している	74%	20%	2%	1%	3%
16. 施設・設備等の環境整備は充実しており、美化に努めている	55%	29%	4%	1%	11%
17. 役に立つ資料や情報が常備されている	34%	29%	8%	0%	29%
18. 健康診断等の健康維持に対する指導をしている	39%	32%	10%	2%	17%
19. 臨床心理士がいるので安心感が持てる	29%	29%	10%	3%	29%
20. レクリエーションや課外活動があれば参加させたい	37%	30%	13%	4%	16%
<p>【考察】 ・事務員は本校生徒と連携校関係の事務処理があり業務内容は膨大である。特に経費関係や転退学などの対応は担任との連携が不可欠であるが、一部で連携に不足があり年度末まで処理が送れた事案が発生してしまい猛省している。</p> <p>・カウンセラーとの面談は保護者からの依頼もあり機会を増やして対応したい。</p> <p>・初めてレクリエーション（課外活動）のアンケートを実施したが、予想以上の希望があった。次年度以降実施の方向で企画していきたい。</p>					

保護者コメント（要望）

- ①もう少し課外活動などあればと思います。☒
- ②後期入学のためまだわからない点が多く、まだ1年生ですが、進路については機会があれば詳しく聞きたいと思います。
- ③転学した日から学校へ通えるようになりました。まずは本人の好きな教科から時間割を組んでくださったことも大きかったと思います。テストも良い点数が取れるように頑張っています。
- ④全日制よりも授業の時間が少ないので、大学進学がちゃんとできるか心配。体育・歴史の授業の先生が凄すぎてとても感謝しています。
- ⑤難しいとは思いますが、部活、修学旅行等ないので、それにかわるものが経験できるとありがたい。
- ⑥入ったばかりでいじめ指導等どのようになっているのかわからないものがありました。
- ⑦体育のバドミントンの授業で、何もせずに座っているだけの時間が長いようで困惑している様子。友達がいらない生徒もいると思うので、全員が取り組めるよう(体を動かせるよう)考えた授業をして欲しいです。☒
- ⑧前期と後期に分かれているが、単位制であるため仕方ないが、休みの期間が長すぎるのももう少し授業の回数を増やして頂きたいです。☒
- ⑨期末試験の「まとめ試験対策プリント」があまりにも「汚い!!」「見づらい!!」ことがありました。「まとめ試験対策プリント」以外からの問題を出すのなら、生徒にも事前に範囲を詳しく伝えるべき。☒
- ⑩休まずに登校できてうれしいです。親切に支えていただきありがとうございます。☒
- ⑪通信制課程の需要が高まっています。いろいろなお子さんがおられますが、先生方には優しく関わって頂き大変感謝しております。☒
- ⑫学校生活の中に部活動のようなものがないので、課外活動などがあるとよいと思いました。(校内に場所がなくても、子供たちで相談できるような出会いの場をきっかけに郊外での活動など) ☒
- ⑬進学希望者に対する説明会等がなく、情報があまり得られず、情報収集に苦労した。☒
- ⑭生徒個々に合わせて親切に対応してくれてありがとうございました。☒
- ⑮転入学する前は、本人の自己肯定感が低く先のことを考えるととても不安でした。先生方のご指導により少しずつ自信をつけることができ、単位取得、受験することができ感謝しています。本当にありがとうございました。☒

【考察】

- ・転入学という環境の変化に順応できる生徒とできない生徒の差はあるが、保護者からのご理解と感謝は、我々教員のモチベーションアップにも繋がっている。
- ・一部学校サイドとの連携ミスによるご意見も頂いているため、状況を確認して今後の対応に繋げたい。
- ・レクリエーション・課外活動に対する要望が予想以上に多いことが理解できた。
- ・様々なご意見を頂きながら、少しでも満足いただける通信制高校を目指して今後も努力を続けたいと思う。